

さくらほっと NEWS

vol.66
令和7年春号

新病院長からのご挨拶 1

リハビリテーション病院が
名古屋市立大学医学部附属病院として
開院しました ... 2

名市大病院のチカラ Vol.34 3

日本初の乳がんプラットフォーム試験を開始 ... 4

災害に備える！ 4



松川則之 新病院長

新病院長からのご挨拶

このたび、令和7年4月1日より病院長を拝命いたしました松川則之と申します。間瀬光人前病院長の後任として、安心安全な医療を提供するとともに、未だ治療困難な疾患への先進的医療を提供できるように発展させたいと考えております。引き続きご支援いただけますように、よろしくお願いいたします。

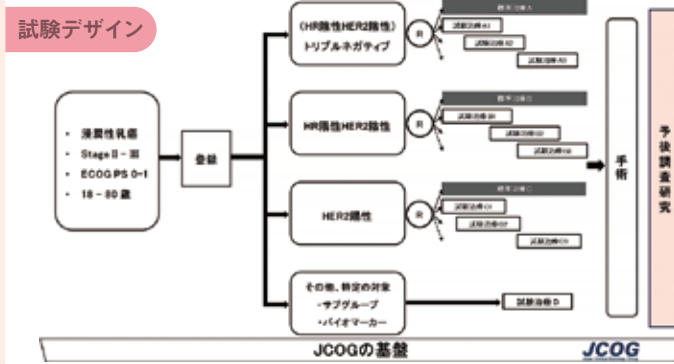
さて、当院では関連診療科が協力してシームレスな医療を提供するために、包括的がん治療のためのがん診療・包括センターや不育症、ハイリスク妊娠や新生児対応のための周産期母子医療センターなどセンター化を推進して参りました。さらに、令和8年開設を予定する救急災害医療センターでは、総合的な救急医療を提供できるよう準備いたします。本センターは、各診療科と有機的に連携し良質な医療を提供するとともに、次世代の医療人育成を可能にするものと期待されます。一方、名古屋市立大学では本院以外に、東部・西部医療センター、みどり市民病院、みらい光生病院に加え、令和7年4月1日から名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院も附属病院となります。各病院の特徴を大切に、質的にも量的にもこれまで以上の医療を市民の皆様にご提供できるように尽力して参ります。また、2000床余となった病院群を活用した新たな医療開発にも注力していきます。引き続きご支援・ご鞭撻いただけますようによろしくお願い申し上げます。

日本初の乳がんプラットフォーム試験を開始

日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)は、周術期乳がん患者を対象とした「S-FACT試験(JCOG2205)」を開始しました。本試験は、臨床研究戦略部の岩田広治特任教授を研究統括者、能澤一樹特任講師を研究事務局が担当する、日本初の乳がん領域における医師主導のプラットフォーム試験です。

S-FACT試験は、国立がん研究センター中央病院の支援を受けて実施され、新規薬剤を迅速かつ効率的に評価する柔軟な試験システムを採用しています。このプラットフォーム試験では、単一の疾患に対して複数の治療法を同時評価でき、新規治療法の追加や除外も可能です。対象は臨床病期II期またはIII期の乳がん患者で、術前化学療法の有効性を乳がんサブタイプごとに標準治療と比較します。初回のコホートはトリプルネガティブ乳がん患者を対象としています。

従来の個別試験では時間とリソースが分散し、新薬開発の遅れが課題でしたが、本試験はこれに対応し、プラットフォーム試験を採用することで迅速な薬剤開発に寄与することが期待されます。また、血中ctDNAを活用した治療戦略の確立や、他のがん種への応用も期待されています。S-FACT試験は日本の乳がん患者に迅速かつ効果的な治療を届ける架け橋になります。



災害に備える！

災害時患者受入訓練を行いました

当院は災害拠点病院に指定されています。災害時には愛知県の医療救護活動の拠点となり、多くの被災傷病者を受け入れられるよう、毎年災害時受入訓練(BCP訓練)を行っています。

今年度は10月19日(土)に訓練を実施し、平日の外来診療中に震度6強の南海トラフ巨大地震が発生したという想定のもと、院内の災害時の体制確立や状況確認などの訓練を行いました。また、被災傷病者の受け入れを想定し、各診療場所の設置や診療手順などの訓練も行いました。

今回の訓練で得られた反省点を踏まえ、災害時に頼れる病院となれるよう、より一層病院機能の充実を図っていきます。

..... 備蓄品メモ

電気や水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や食料の他、トイレなどの生活用品も備蓄しておくことが大切です。

備蓄する量は最低3日分、できれば1週間分が推奨されています。トイレは、15回分~35回分もの量になります。使いきりの携帯トイレや複数回使用可能な箱型トイレ等の商品がありますが、猫砂での代用も可能です。

ぜひ、ご家庭の防災グッズを見直してみてください。



エリア訓練(搬送患者受入)



エリア訓練(傷病者治療)

リハビリテーション病院が 名古屋市立大学医学部附属病院として開院しました

当院は名古屋市瑞穂区の閑静な住宅街の中に位置し、2025年4月より名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院として運営を開始しました。前身の病院は、1989年に障害のある方に対し相談から医療、訓練を経て社会復帰に至るまでの総合的なリハビリテーションを提供することを目的として開設された名古屋市総合リハビリテーションセンターの附属病院としてリハビリテーションを中心とした医療を提供してきました。新たな診療体制においては、前身の病院の医療を継続しながら、大学病院としての知見を活かした高度なリハビリテーション医療を中心に提供してまいります。また、大学病院化したことを契機として、先駆的な臨床研究を推進し、倫理観・使命感の高い医療人の育成に努めるとともに、これまで以上に地域の医療機関や介護事業者の皆さまとの連携を深め、安心・安全な医療を行ってまいります。



リハビリテーション病院のご紹介

名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院は、2025年4月1日、名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院より名古屋市立大学医学部の附属病院として新しく生まれ変わります。

1. 高度なリハビリテーション医療

大学病院として最新の知見に基づき、回復が難しいとされる上肢機能、手指機能の回復のための先進機器を導入するなど、機能障害に応じた質の高いリハビリテーション医療を提供してまいります。また、多職種連携によるチーム医療に取り組み、一人一人の状態に合わせ、心理面にも配慮しながら在宅復帰・社会復帰を支援できるよう努めてまいります。

2. 医療と福祉の連携

地域における医療と福祉の連携拠点となる医療福祉センターを院内に設置し、患者さんが自分らしく生きるための具体的な方策を提案してまいります。さらに、本学人文社会学部と連携した社会福祉士の育成や、医療福祉に関する臨床研究の支援、社会に向けた発信に努めてまいります。



MELTz®手指リハビリテーションシステム
手指機能に特化した先進機器で、特に指先の繊細な動作の回復を支援します。



Armeo®Spring pro with ManovoSpring
上肢リハビリテーションロボットを採用。関節の動きをサポートしながら、繰り返しの運動を通じて上肢機能の回復を目指します。

名市大病院のチカラ Vol.34

アイセンター(眼科) 「見える」を守って「健やかに」を共通目標に！

眼科はヒトが「健やかに生きる」ために重要な「め」を守る診療科です。人生100年時代の超高齢化社会において、白内障はもとより、視覚障害の主因である緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性の治療に尽力しています。アイセンターへの紹介患者さんは進行例が多く、緑内障は点眼加療に加え手術介入を検討します。糖尿病網膜症、加齢黄斑変性は眼内注射薬により視力維持がまずまず可能ですが、難しく紹介される患者さんには、生活スタイル改善の指導から、特殊な薬物治療、最新のナビゲーションレーザーを用いた治療まで心がけています。2024年4月から外来手術室をアイセンターが占有し白内障手術と眼内注射が速やかに施行できる体制になりました。また、医師と病棟、手術部看護師一丸で網膜剥離や眼外傷の緊急手術に対応しています。

大学病院の責務である新規治療として、現在、強度近視による網脈絡膜萎縮に対して、世界初の間葉系幹細胞シートを用いた再生医療の治験を実施しています。

視覚障害の改善見込みが乏しくても、身体障害者手帳取得で福祉サービスや視覚障害用補助具の支給が受けられます。ロービジョン外来にて、各種サービスの情報提供、補助具の活用や歩行訓練など、医師・視能訓練士・看護師が連携して、患者さんの心が「健やかに」なるようサポートしています。

今後も、スタッフ一同、患者本位の医療を共通目標に、地域の中核病院として高水準の診断・治療を行なってまいります。



アイセンター手術室にて

臨床心理室 臨床心理室のご紹介

臨床心理室は、患者さまやそのご家族のメンタルヘルスをサポートするための専門部署です。当部署は2022年4月に中央部門として組織された新しい部署で、公認心理師が10名在籍しています。心理職は、これまで臨床心理士という名称で活動していましたが、2017年に心理職の国家資格が誕生し、それ以降、院内では『公認心理師』という名称で活動しています。主な業務としては、心理評価(心理検査)、カウンセリング(精神療法)、医療スタッフとの連携を行っています。

また、当院では『グリーフケア外来』と呼ばれる、ご遺族へのこころのケアを行うユニークな専門外来を開設しています。遺族の心理的支援を専門的に行える医療機関はほとんどないため、地域の方の受け皿になるような取り組みも独自で行っています。

私たちは医師や看護師、他のメディカルスタッフの方と連携しながら、こころの問題で悩みを抱えておられる方が、安心して治療を受け、より自分らしい生活を送ることができるようお手伝いをさせていただくことを心がけていますので、これからもよろしくお願いいたします。



上段 伊藤嘉規 松原弘和 渡邊和佳子 大利風歌 炭本佳乃
下段 池田華奈子 古山純葉 兼松明日美 加藤由季